

# 海外エコツーリズム実習（インドネシア）

## 研修先について

インドネシアでは、パーム油を生産するために、広大な熱帯林が伐採され、野生生物の減少、農薬による水質汚染など深刻な環境問題が起きています。熱帯林が破壊される原因は、おもに農村の貧困です。違法伐採やパーム農園に依存しなくても、住民が森と共生しながら収入を得られる方法として「エコツーリズム」や「アグロフォレストリー」、「フェアトレード」が注目されているのです。インドネシアの様々な食文化や世界遺産にもふれて、熱気あふれる発展途上国の今を体感してみませんか？



## 研修プログラム概要

|     |        |
|-----|--------|
| 行き先 | インドネシア |
| 時期  | 春期休業中  |
| 日数  | 11日間   |
| 費用  | 約26万円  |
| 滞在  | ホテル、民泊 |

## 研修の様子



村のホームステイでは、家の方々はあたたかく出迎えてくださり、アットホームな雰囲気です。とても居心地がよかったです。



ジャカルタで伝統織物、バティックの染色体験ができます。バティックは世界無形文化遺産にも登録され、インドネシアを訪れる観光客からもお土産として人気です。

## スケジュール（例）

|         |                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------|
| DAY1    | 出発、ジャカルタ着                                                             |
| DAY2    | 西ジャワ州マラサリ村に移動                                                         |
| DAY3-5  | ヤシ砂糖の生産現場の見学、農業体験、教育現場（小学校）の視察、等<br>ジャカルタへ移動                          |
| DAY6-10 | ガジマダ大学訪問、廃棄物対策の「ゴミ銀行」見学、伝統染物バティック体験<br>ボロブドゥール遺跡（仏教）、マルピ山噴火復興支援村の訪問、等 |
| DAY11   | 帰国                                                                    |

## 学生の体験談

ジャングルの中では多くの野生の動植物が生息し、ワウワウテナガザル（絶滅危惧種）の親子の姿を目にすることができました。食用植物や薬草を口にしたり、有毒な木や珍しい花を観察したりした。また、アグロフォレストリー（森の再生と農作物の収穫を両立させる複合経営）の見学では、さまざまな熱帯の果物（ドリアン、マンゴスチン、パパイア等）、さらには日本でもなじみのある香辛料（バニラ、シナモン、コショウ等）の木々を教えていただき、驚きの連続でした。発展途上国での持続的な産業の意義は大きく、生産者も自然環境も大事する取り組みを応援したいです。